

## 平野 兼太郎さん（平成23年卒）

北上市役所 企画部情報制作推進室 勤務

### ◇お仕事の内容を教えてください

市役所内のパソコン等の機器や各種システムの調達・管理を担当しています。また、システムや機器の不具合があれば、解決のためにサポートをしています。

### ◇仕事を通じどんなことに喜びを感じますか

私が導入に携わった機器が正常に稼働しているのを確認したときに喜びを感じます。また、サポートする仕事でもあるので、手助けをして感謝されるとうれしいです。ただ、システムは正常稼働が当たり前とされるので、不具合が発生した際は、対応に追われますし、市民にも迷惑をかけることになるのでそこが大変なところです。

仕事をしているとIT用語とかネットワーク構成とか、わからないことが沢山出てくるのですが、それがわかるようになると面白いですね。



### ◇将来の夢を教えてください

直近だと、所属する野球チームで全国大会に行き、おいしいお酒が飲めれば最高です。

夢のまた夢ですが、いつか海外旅行に行き1か月くらいゆっくり過ごしてみたいです。

### ◇専大北上高校ではどんな高校生活を過ごされましたか

野球7割勉強3割の高校生活だったと思います。軟式野球部ではたくさん楽しい体験をさせていただきました。羽黒高校との合同バス合宿など爆笑の思い出ばかりですが、1番の思い出は春の東北大会で優勝したことです。勉強は…朝7時30分からの0時間目の授業が当時大変でした。家がクラスで1番近いにも関わらず、1番最後に到着していたと思います。もっと頑張れたなと思うことが多々あります。

高校生活は私の中で大きな挫折を経験した期間でもありました。入学当初、硬式野球部に入部しましたが、環境に慣れることができず辞めてしまいました。また高3時には、目標の大学に入れず浪人をするようになりました。今でも悔しい思い出ですが、このときの経験は社会人になってからも役立っています。

### ◇専北生に伝えたいメッセージは何ですか

私の高校生活を顧みて伝えたいことは「挫折しても前向きに」ということです。

私は高校生活で2度大きな挫折を経験しました。当然、そのときは落ち込んだのですが、結果的に立ち直ることができました。それは物事を前向きに捉えることができたからだと思います。

「勉強に集中することができる」とか「もっといいところに行けるかも」とかマイナスな出来事をあえて前向きに考えました。私のような境遇にいたり、今後経験したりする方がいるかもしれません。その際は考え方を少し変えて、マイナスな出来事を前向きに考えてみると、もしかしたら前に進めるかもしれません。

\*\*\*\*\*

### ☆取材後記

「挫折」という言葉を屈託なく語る平野さん。物事を前向きに捉えることの重要性を説かれます。今、挫折感を感じている専北生も平野さんのメッセージを参考にしてみてください。(担当：Y)